

症例1 インストラクター用

シナリオ

低酸素血症・呼吸停止

患者背景

74歳男性が呼吸苦を主訴に入院している。

患者情報

症状と徴候： 呼吸苦

アレルギー： なし

投薬： 気管支拡張薬、クラリス（抗生剤）、呼吸苦に対して酸素 10L 投与

既往歴： 慢性気管支炎

最後の食事： 昨夜

体重： 60kg

シムマン設定

意識あり 発語乏しい

気道開通

呼吸あり 呼吸数 12、SpO₂ 98%（酸素 10L 投与下）

循環 HR 80 BP 120/80mmHg

受講生が行うべき事

初期観察

呼吸停止に気付く

補助換気を開始する

RRS Ns.に適切に報告

症例1 受講生用

患者背景

74歳男性が呼吸苦を主訴に入院している。

患者情報

症状と徴候： 呼吸苦

アレルギー： なし

投薬： 気管支拡張薬、クラリス（抗生剤）、呼吸苦に対して酸素 10L 投与

既往歴： 慢性気管支炎

最後の食事： 昨夜

体重： 60kg

タスク チェックリスト

- 低酸素血症（緊急）を認識する
- RRS Ns.に SBAR を使用して適切な報告をする

- 記録を取る
- 意識の評価
- 気道・呼吸の評価
- 循環の評価
- モニター（AED または除細動器）を装着する
- バイタルサインを取る

- 必要があればベッドを移動してヘッドボードやサイド柵を外す
- BVM を使用した補助換気を行う
- 患者の循環を適切に評価して管理する
- 輸液路を確保する

- 再評価をする